



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1122 / 2012. 10. 19

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2012～2013 年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2012 年 10 月 19 日 第 1229 回

卓話:「ロータリーの環境保全について」

RI 第 2750 地区 社会奉仕委員会

副委員長 木村 眞 氏 (東京恵比寿 RC)

●前回報告/2012 年 10 月 12 日 第 1228 回例会

RI2750 地区 佐久間ガバナー公式訪問

卓話:「ガバナー卓話」

会長特別報告: (ご来賓の紹介)

RI2750 地区ガバナー 佐久間 崇源 氏

(東京目黒 RC)

RI2750 地区 地区副幹事 渡辺 美智子 氏

(東京六本木 RC)

千代田 G ガバナー補佐 浅川 博道 氏

(東京みなと RC)

千代田 G グループ幹事 石曾根 良 氏

(東京みなと RC)

RI2750 地区ガバナー
佐久間 崇源 氏
(東京目黒 RC)



ガバナー・会長
幹事・会長エレクト
懇談会
(11:20 ~ 12:10)



社会奉仕委員会: (橋本委員長)

10 月 6 日～7 日の両日に「みなと区民まつり」が芝増上寺境内で開催されました。当日は約 30 万人の人出で大変なにぎわいでした。芝 RC のブースに千代田グループ 7 クラブが震災復興支援のパネルを展示致しましてロータリー活動を広報いたしました。芝 RC のブースには 1200 名強の方が来場され熱心にパネルを見ておりました。来場された方には外れ無しの景品付きのロータリークイズを実施致しまして大変な熱気でした。当クラブは陸前高田復興支援をパネルに編集して展示致しました。両日には当クラブでは尾関会長・社会奉仕委員会が延べ 7 名がパネルの説明・ロータリークイズの対応に汗をかいていただきました。お疲れさまでした。「奉仕を通じて平和を」をスローガンとしての今回の取り組みはロータリーの知名度と公共イメージアップに繋がったと確信致しました。

慶事披露: 100%出席

出席報告: 会員 40 名/出席 22 名・欠席 18 名

ご来賓: RI2750 地区ガバナー 佐久間崇源(東京目黒 RC)、RI2750 地区地区副幹事 渡辺美智子(東京六本木 RC)、千代田グループガバナー補佐 浅川博道(東京みなと RC)、千代田グループグループ幹事 石曾根良(東京みなと RC) 計 4 名(敬称略)

吉田用親 君

(27 年)

石井謙次 君

(12 年)



●次回予告/ 2012 年 10 月 26 日(金) 第 1230 例会

卓話: 一心グループ 会長 真田 惣行 氏
(福山赤坂ロータリークラブ)

「2012 みなと区民まつり」に出展

2012 みなと区民まつりが10月6日(土)から10月7日(日)に芝増上寺境内で開催されました。今回は約30万人が来場される「みなと区民まつり」にロータリー活動を広報することで、ロータリーの知名度と公共イメージアップの一助とする事を目的といたしまして、芝ロータリークラブさんが企画されました。芝ロータリークラブさんのブースにはRI第2750地区千代田グループの7クラブが「奉仕を通じて平和を」をスローガンに奉仕活動の一環として東日本大震災復興支援活動に積極的に取り組んでいる様子をパネルを作成して展示いたしました。赤坂ロータリークラブは岩手県陸前高田市に「市民癒しの公園」「集会場」「松苗木第2補植場」を建設・贈呈をB1版のパネルに編集して展示いたしましたが多くの来場者に素晴らしい支援との評価を聴く事が出来、大変嬉しく思いました。当日は芝ロータリークラブさんが用意して下さった景品でロータリークイズを外れなしで実施したところ、なんと1,200人強の来場者がこのクイズに参加して下さり、大変な賑わいでした。クイズとしては千代田グループ7クラブがどのような復興支援プロジェクトを行っているかを展示パネルを見て回答する事に成っており、来場者の方々は真剣にパネルを見て回答しておりました。当クラブでは10月6日(土)に尾関会長、社会奉仕委員会の橋本委員長、入沢環境保全リーダー、村山地域調査リーダーが参加、10月7日(日)は社会奉仕委員会の橋本委員長、吉岡副委員長、高須副委員長が参加いたしました。パネルの説明やロータリークイズの対応に汗を流しました。初日は秋晴れでしたが2日目は雨男の私の性か？少しばかり雨に降られてしまいましたが、大変気持ち良い奉仕活動が出来たと思っています。主催された芝ロータリークラブの山下会長、社会奉仕委員長の山本さんには大変お世話になりましたことに感謝申し上げ報告いたします。(橋本記)



10月12日(金) / 16件 31,000円 累計348,000円 多額の寄付を有難うございました。

尾関武男/第2750地区佐久間ガバナー、第2750地区渡辺地区副幹事、千代田グループガバナー補佐 浅川さん、千代田グループグループ幹事 石曾根さん、ようこそおいで下さいました。佐久間ガバナーの卓話楽しみにしております。清水寛/佐久間ガバナー、渡辺地区副幹事、本日はありがとうございます。浅川様、石曾根様、いつもお世話になります。西澤民夫/佐久間ガバナー、渡辺地区副幹事、千代田グループ浅川ガバナー補佐、石曾根幹事、ようこそ。お待ちしております。本日はよろしくお願いいたします。村山公士/佐久間ガバナーようこそ当クラブへ。本日はよろしくお願いいたします。高須康有/佐久間ガバナー、公式訪問ありがとうございます。よろしくお願いいたします。小原健/佐久間ガバナーを歓迎して！橋本年男/佐久間ガバナー、バンコクでのガバナーナイトでは大変お世話になりました。リスボンも楽しみにしています。浅川ガバナー補佐、みなと区民まつりでは大変お世話になりました。入沢頼二/佐久間ガバナー公式訪問、ありがとうございます。田村昭二/佐久間ガバナー公式訪問有難うございます。小林さんニコニコご苦労様です。佐藤仁/佐久間ガバナーいらっしやいませ。小林さんニコニコご苦労さまです。川邊幸夫/佐久間ガバナー、今日はよろしくお願いいたします。小林さま、お疲れさまです。吉田用親/メークアップが続きました。ロータリーの友情のおかげで皆出席が続けられました。石井謙次/皆出席ありがとうございます。小林さんご苦労様です。尾上寛/来週から10日間、家族でタイのバンコックへ行って来ます。よって例会2回休みます。関陽一/皆様、ご無沙汰しております。今日は久しぶりに解放されました。小林博茂/ニコニコの発表を致します。今回は穂苅さんのピンチヒッターです。ピンチヒッター慣れのSAA小林です。

尾関会長より懇切にご紹介いただきましてありがとうございます。私が以前東京赤坂 RC さんの例会へおじゃましたのは 20 年以上前になります。1986 年に新南 RC として設立され、初代会長の田辺さんが 1989-90 年にガバナーに就任されました。私は田辺ガバナーの時に分区幹事(現：グループ幹事)を務めさせていただきました。その当時、拡大補佐に任命され、目的に向かって汗をかけた記憶があります。そして、当時の東京駒場 RC (現：東京青山 RC) を創設しました。私がクラブの枠を超えての初めての活動でしたので、沢山の思い出がございます。先ほど会長、幹事、会長エレクトを含め 7 名で懇親会をいたしました。本当にざっくばらんなお話ができ、クラブの現状を把握することができました。大変良いクラブで、このまま力を蓄えていただけないかと期待をいたしました。

公式訪問には 4 つの目的がございます。1 つは RI 会長のテーマ、強調事項と、ガバナーの新年度方針などをクラブ会員の皆様へ直接お伝えしてロータリーが抱えている諸問題について関心をもっていただくことです。これにつきましては、田中 RI 会長のビデオを見ていただきたいと思います。3 月に収録したため次期会長への呼びかけとなっております。ではご覧ください。

『2012-13 年度の会長の皆様へお話をする機会をいただき誠に光栄に感じております。私にとってロータリーは人生の中心となってまいりましたが、1975 年にロータリーへ入会した当時、これからの私の人生が全く違う方向へ向かっていくとは思ってもみませんでした。収入や売上を伸ばすことや、自分の会社を他の会社より良くするだけでなく、個人として職業人として、もっと高い目標をもって人生を送りたいと思うようになったのです。さらに私は、どんな些細なことでも人を助けることがいずれば平和へ繋がることに気がきました。平和は人によって様々な意味をもっています。どのような意味で平和を理解するにしても、ロータリーでそれを実現することができます。ロータリーは保健、衛生、食料、教育などの人々の基本的なニーズを最も必要とされている地域で答えることができます。そして、友情、繋がり、思いやりといった心のニーズにも答えることができます。さらに国や民族間の友情と寛容を推進することで、ロータリーは最も伝統的な意味での平和をつまり互を理解し合う後押しをしてくれるのです。ロータリアンは自分よりも他の人のニーズを優先します。超我の奉仕という言葉は自分のためだけではなく、社会全体のことを考えようと教えてくれる言葉です。それを実現することで、より平和な世界の基盤を築くことができると考えます。そこで私は 2012 年-13 年度のテーマを「奉仕を通じて平和を」といたしました。この概念に難しい哲学は無いと思っています。私は哲学者ではありません。一介のビジネスマンです。ただ長年の経験から、事業を成功させるには、顧客の満足を追求する以外に無いという結論に達しました。顧客に喜んで貰えれば私の事業も成長します。そうすれば、私自身も幸せになれる。ただそれは事業が成功しているだけではなく、それは人を幸せにできたという認識があるからです。さらに皆様には、2012-13 年度に地区内のクラブにおいてクラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と強化、公共イメージと認知度の向上という RI 戦略計画の 3 つの優先項目に一層の力を注いでくださるようお願いしたいと思います。また、クラブにおいては特に 6 つの重点分野に

力をいれて活動してください。平和と紛争予防、紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展。何かを達成させるためには、自分の目標をたてる必要があります。一生懸命に働くだけではなく、目指す先をしっかりと把握しておくことが重要です。今こそ全員が具体的な目標をたてる時です。次年度に何を達成したいかを決め、野心的でありながら、かつ現実的な目標をたてます。目標にたどりつくには、どのようなステップを踏むべきかを考え、達成に向けての行動予定を組みます。クラブの全員に何らかの役割を担当してもらい、各自がその役割を理解しておくようにします。これは全員の参加を得るために重要なことです。全員が参加すれば、誰もが自分が必要とされていると感じるようになり、成功は自分たちにかかっているのだと認識するようになるでしょう。ロータリーのビジネスは利益の追求ではなく、平和の追求です。ですから私たちにとって報酬はお金を手に入れることではなく、自分の努力によってより良い平和な世界が実現するのを見届けることにあります。クラブ会長としての 1 年間「奉仕を通じて平和を」の精神をもって、ロータリーの究極の目標である平和の世界に向けて邁進していただけるようお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。』

今皆様にご覧いただきまして、田中さんの思いは伝わったと思います。続いて私は地区の重点目標について説明申し上げます。地区の方針では「ロータリーを楽しもう」ということを掲げました。これは田辺さんがガバナーのときの RI テーマです。何も難しいことではなく、ロータリーの奉仕活動だけではなく、ロータリーの全ての活動を前向きな気持ちで楽しんでいただきたいという思いからです。このテーマを掲げたのは、決して真似をしたわけではなく、特別な思いがあるからです。私が 36 年前に 36 才で東京目黒 RC に入会したときは、皆さん良い方なのですが、怖くて厳しい先輩ばかりでした。例会の席ではどれだけ固くなって座っていたかわかりません。現在は、どのクラブへ行っても先輩は優しい顔をしています。ところが、今と一番違うのが、例会が終わったあとでもロータリーの話ばかりをしている。例えば冗談を含め「君の態度はロータリアンにふさわしくない」「もっと目つきをよくしなくてはロータリアンではない」「それは良い」とかです。私はそんな中で、知らず知らずのうちに、ロータリーを楽しむという姿勢が備わったと自分では思っております。現在は、時代もメンバーも違いますが、ロータリーを楽しんでいただきたい、という思いがありまして、このテーマを掲げました。地区の目標は 3 つ掲げております。1 つは「クラブにおける戦略計画の立案と実践」です。皆さんがどのようなクラブにしていきたいかを考えていただければよいのです。皆さん自身で決めていただき、リーダーを中心に進めていただき、目的のクラブへと近づけていただければと思います。一度決めたら変えてはいけないということではなく、半年に 1 回でも見直していただいて、より皆さんの希望に近いクラブになるために目標を設定していただき、目標に向かって進んでいただきたいという思いを申し上げます。2 番目は「クラブ又は地域社会での平和活動の推進」を掲げました。これは田中さんに敬意を払っているものであります。奉仕活動は変えていただく必要はなく、今までと同じように、それ以上

に取り組んでいただければ結構です。ただ、RI 会長賞に挑戦しようという思いがありましたら条件があります。地域社会独自の平和フォーラムを開く、または、平和にそった奉仕プロジェクトの実行ということがあります。3 番目は「公共イメージと認知度の強化」これは何年か言い続けておりますが、まだ達成できておりません。これは RI も本腰を入れております。地区内で一番良いクラブには補助金がでるようになっています。昨年ポリオエンドナウの活動で六本木 RC が対象となりました。今年は京浜グループ 14 クラブで、羽田ターミナルのスクリーンを使って 1 ヶ月間広報活動をする、ということをやっています。時期は、来年の 2 月 23 日から 1 ヶ月間ということをやっています。ここまでの地区の方針です。これから会員基盤の強化に入りたいと思います。日本には 34 の地区があり、各地区のガバナー同期と話をいたしました。田中さんは 30 年ぶり、日本人として 3 人目の RI 会長として就任されますが、何か縁があって日本人が RI 会長のときにガバナーをやるのだから、何か私たちが日本人として貢献できることがないだろうかと話合いました。結論としては 2 つあり、その 1 つが会員基盤の強化です。RI では日本のロータリアンの減少が酷く、13 万人を超えていた会員数が、今は 8 万 6 千人ほどです。他にもアメリカなど減っている国もありますが、1%、2% の減少ですので何とかかなと思います。日本のように何十%とあるような会員減少には頭を抱えております。少しでもプラスになっていくかたちで田中さんに貢献できるといいと話をいたしました。ただし、間違っても田中さんのために会員増強をするのではありません。この 2750 地区のほとんどのクラブが会員基盤の強化が必須条件です。これはあくまでもクラブのために、会員増強を正面から捉えていただくということで頑張っていたください。田中さんの話は結果ですので、混同しないでください。この地区では会員減少が激しいのかと申し上げますと、新しい会員を年間で約 350 名、しかし 450 名が年度末に退会をする。簡単に申し上げて 100 名ずつの減少が 10 年以上続いております。最盛期には 6000 人を超えておりましたが、今は 4500 人となりました。この現状をどうか皆さんのクラブに当てはめて、ここのクラブとして会員増強を真剣に向き合って、強いクラブ、基盤のしっかりしたクラブ、良いクラブになるためには会員増強を欠かして達成することはできません。どうか取り組んでいただきたいと思います。各クラブ 3% 以上の純増ということで掲げました。これは最低 3% と思っております。こんなものではなく達成するよという尾関会長のお話でしたので、非常に心強く思っております。現会員の退会を食い止めなければ、増員はありえないといわれています。現実にはそのとおりです。退会理由は色々あり、止められない理由もありますが、現会員を大切にクラブにとどまっていたいただき、活躍していただくという前提で、会員増強をしないと効果を得ませんので、改めて心していただきたいと思います。次にロータリー財団と米山奨学会の支援についてご説明、お願いをしたいと思います。私は奉仕には 2 つあると思っております。1 つは自分の体、時間、費用を使ってする奉仕です。これは直接的で充足感もあり、これに勝る奉仕はないと思っております。今までと同じか、それ以上に進めていただきたいと思います。2 つ目は寄附だと思っております。大きなまとまった奉仕は簡単にできるわけ

ではありません。ロータリーでは皆様からいただいた寄附は、全て奉仕活動に使われます。皆様の寄附は、皆様が使うのが一番だと思います。自分が寄附をしたお金を日本の中で、世界の果てででも、自分に代わって奉仕活動をしてくれる、その原資が皆様の寄附です。ロータリーはお金を生み出す団体ではなく、皆様の寄附により支えられ奉仕活動をしている団体です。どうかその観点に立って寄附ということをお考えいただきたいと思います。財団の年次寄附は 1 人 100 ドルをお願いしております。会長にも 1 人 100 ドルを達成いただくようお願いいたしました。またこれに対しては御礼を申し上げることしかありませんが、日本人の生真面目さなのでしょうが、これで今年の私の寄附は終わった、と思ってしまう。寄附はこれまででしたら、これで終わりだというものではありません。どうか 100 ドルで終わることなく、事情を許す方は、ポールハリスになっていただき、全体の寄付を押し上げていただきたいと思います。昨年の日本の年次寄附の平均が 1 人 130 ドルです。この地区は 125 ドルです。25 ドル積み上がるだけ寄附をしてくださった方がいるのです。どうか皆さんがその 1 人になってくださることを期待いたします。米山記念奨学会では、地区として 8000 万円という目標を掲げました。例年掲げておりますが、達成したことはありません。寄附は人と比べることではありませんが、日本の 34 地区の中で、この地区は良くて 12,3 番目、悪いと 17,8 番目です。皆さんに申し上げたいのは、東京という日本で有数の経済基盤で、人数が減ったとはいえ 4600 人というのは、日本のなかで 3 番目が 4 番目です。その中で、米山奨学会に対する寄附は 13 番目というのは、人を助けよう、寄附をしようという思いが今ひとつなのではないかと思っております。強制する立場ではありませんが、お考えいただければと思います。米山は奨学金でございます。寄附の減少により、奨学生が 800 人から 700 人に減っています。どうかご協力をお願い申し上げます。これで地区の重点目標の説明は終わりです。先ほど申し上げた公式訪問の目的の 2 つめは、例会前の会長、幹事、会長エレクトとの懇親会で有益な助言をすることです。これが出来たかどうかは会長さんに後ほど伺いしたいと思います。3 つめは、クラブの会員の皆様に意欲をもって頑張ってもらいたいと喚起することです。4 つめは、公式訪問を機会に、クラブ会員の皆様と親睦と友好を深めるということです。この短い時間で私が全部達成したとは思ってはおりませんが、そのような思いをもってこちらに来ましたことをご理解いただきたいと思います。最後に日頃、地区でご活躍いただいている方々に謝意を表して、またその方々を支えてくださっているクラブの皆さんに御礼申し上げます。お名前を紹介させていただきます。クラブ支援委員会社会奉仕委員会の委員長をしている大日方真さん、副委員長をしている橋本年男さんにご活躍をいただいております。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。最後に一言申し上げます。どんなに地区でご活躍していただいても、地区の人という人は 1 人もございません。クラブのメンバーです。クラブ内では、より一層のご活躍をお願いしたいと思います。時間が来てしまいました。今日は本当に和やかに迎えていただきありがとうございます。今年 1 年といわず、皆さんと一緒にロータリーを楽しみたいと思っております。どうもありがとうございました。(完)